

新型コロナウイルス感染症対策について

1 患者発生状況

(1) 患者数 (感染者累計 : 303,258 件 (9月13日時点))

※過去最多:令和4年8月10日 3,990人 (第6波までの過去最多 : 2,351件 (2月3日))

●直近の状況 (発表日ベース)

9/12 ~ 1836人 前週の同日比 (累計) -473人 -20%

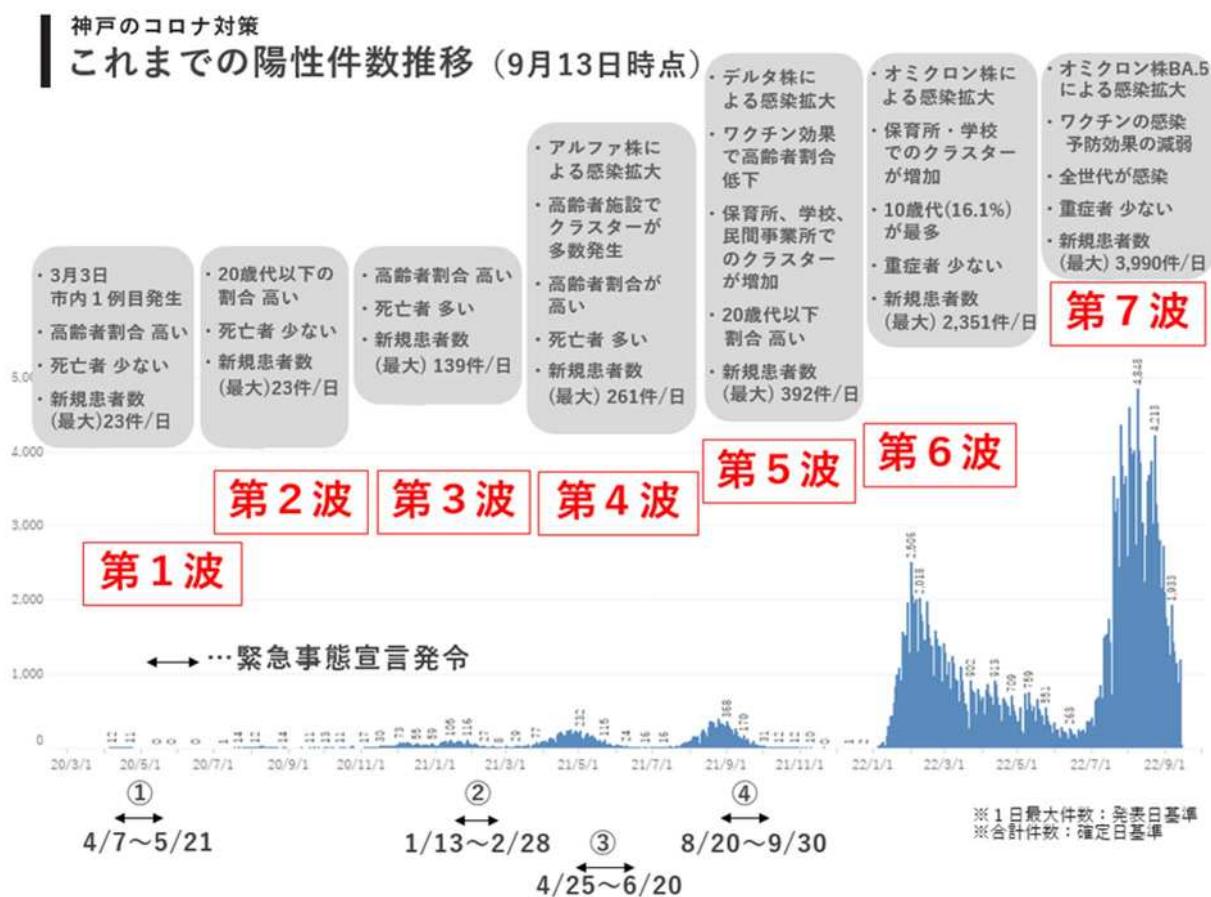
	期間	月	火	水	木	金	土	日
今週	9/12~9/18	9/12	9/13	9/14	9/15	9/16	9/17	9/18
	感染者数	541	1295					
	累計/週	541	1836					
	先週比 (累計)	-256	-473					
	先週比 (%)	-32%	-20%					
先週	9/5~9/11	9/5	9/6	9/7	9/8	9/9	9/10	9/11
	感染者数	797	1512	1717	1281	1140	1214	942
	累計/週	797	2309	4026	5307	6447	7661	8603
先々週	8/29~9/4	8/29	8/30	8/31	9/1	9/2	9/3	9/4
	感染者数	1429	2150	2557	2038	1427	1436	1499
	累計/週	1429	3579	6136	8174	9601	11037	12536

- ・ 8月25日以降は、前の週の同じ曜日を下まわる状況が続いている。
- ・ 第6波と第7波を比べると、第7波のピーク時1週間の感染者数は、第6波のピーク時1週間の感染者数の約1.94倍となっている。

(参考)

- ・ 第5波のピーク時1週間の感染者数(確定日ベース)
8/18~8/24 2,134人 (1日平均 305人)
- ・ 第6波のピーク時1週間の感染者数(確定日ベース)
1/30~2/5 12,423人 (1日平均 1,775人)
- ・ 第7波のピーク時1週間の感染者数(確定日ベース)
8/3~8/9 24,109人 (1日平均 3,444人)

(2) 期間別の感染状況



(3) 入院・入所・自宅療養者数の直近の比較

入院・入所・自宅療養者数の直近の比較

	直近の状況 第7波(R4.6~)			【参考】過去の入院・入所患者ピーク					
				第6波 (R3.1~R4.6)	第5波 (R3.7~R3.12)	第4波 (R3.3~6)	第3波 (R2.9~R3.2)	第2波 (R2.6~9)	第1波 (R2.3~5)
	9/12	9/5	差	1/20	9/2	5/15	12/9	8/23	4/25
入院・入所患者	347人	516人	-169	593人	532人	429人	304人	96人	140人
入院患者数	230人	306人	-76	183人	284人	276人	170人	72人	106人
(うち重症)	(2人)	(12人)	-10	(0人)	(18人)	(23人)	(11人)	(8人)	(9人)
宿泊療養施設入所患者	117人	210人	-93	410人	248人	153人	134人	24人	34人
自宅療養者	4221人	11647人	-7426	1632人	936人	288人	—	—	—
療養先調整中	2216人	3059人	-843	1594人	1165人	1509人	254人	36人	—

(市内在住者の数字)

①入院の状況

9月12日現在で病床使用率は49.1% (221/450床)、
重症患者病床使用率17.0% (9/53床)、うち重症者3.8% (2/53床)

②宿泊療養施設の状況

施設名	入所状況
	(9/13時点)
ニチイ神戸 ポートアイランドセンター宿泊棟 令和2年4月11日～	8/50室 16%
ホテルサンルートソプラ 神戸アネッサ 令和3年8月20日～	20/138室 14%
ポートタワーホテル 令和3年9月18日～	27/154室 18%
ホテルサンルートソプラ神戸 令和4年1月21日～	37/176室 21%
東横イン神戸湊川公園 令和4年8月29日～	9/86室 31%
KOKO HOTEL神戸三宮 令和4年8月30日～	9/99室 37%

110/703室 (6施設合計)
16% (9月13日時点)

(市外在住者を含む)

※感染拡大に伴い、8月末より5施設目・6施設目の宿泊療養施設を運用開始。

総数：4施設518室 → 6施設703室

2 感染拡大防止、医療提供体制の確保

(1) 病床の確保（9月14日時点）

- ・受入可能な病床は450床（うち重症病床53床）。
- ・病床ひっ迫時には、市民病院において通常医療を制限し、最大495床（うち重症病床53床）を確保する。

（参考）兵庫県の医療提供体制にかかるフェーズ：「フェーズV感染拡大特別期」

フェーズ		①	②	③感染拡大期1	④感染拡大期2	⑤感染拡大特別期
フェーズ切替の契機	病床利用率	10%未満	10%以上	20%以上	50%以上	総合的に判断 (800人以上)
	新規感染者週平均 [週患者数/10万人対]	20人未満 [2.5人未満]	20人以上 [2.5人以上]	80人以上 [10人以上]	400人以上 [50人以上]	
構築の考え方		20人の新規感染者 に対応	80人の新規感染者 に対応	400人の新規感染者 に対応	800人の新規感染者 に対応	
体制	病床	300床程度	600床程度	1,000床程度	1,200床程度	1,400床程度～
	うち重症	30床程度	60床程度	100床程度	120床程度	140床程度～
	宿泊 室数	300室程度	1,000室程度	1,500室程度	2,000室程度	2,400室程度～

(2) 特別な配慮が必要な医療提供体制の確保

①陽性妊婦の出産受入体制の強化

第7波の感染拡大を受け、出産直前の妊婦の陽性者も急増しているが、スタッフや設備面などの課題があり、陣痛が始まって、かかりつけ産婦人科医で受入ができないケースが増加。その際には、その時点から保健所が入院調整を始めるために、出産受入が非常に困難であり、受入までに時間を要している。このような現状を早急に改善するために、陽性妊婦出産受入支援金を臨時的に創設し、コロナ受入病院を個別に訪問し、改めて受け入れ依頼を行った。

- ・陽性妊婦出産受入支援金

①陽性妊婦の出産（かかりつけ・かかりつけ以外）支援金

1人受入 30万円

②かかりつけ以外の陽性妊婦の出産受入支援金

事前登録 150万円/月 ※ただし1か月に1人以上の受入が必要

※上記①②とも市内医療機関で受け入れた場合（患者の住所地を問わず）を対象

- ・実施期間：8月17日から10月16日の2か月間

- ・実績

	制度開始前	→	制度開始後
かかりつけ以外も対応可	4病院		11病院
かかりつけのみ	7病院		1病院 2診療所
対応不可	2病院		1病院

■陽性妊婦の出産実績

①8月1日～8月31日で37週以降の陽性妊婦 38人

②上記以外で陣痛後に陽性が判明し、かかりつけ産婦人科医での受け入れができず、保健所が緊急で受け入れ調整した妊婦

8月1日～8月16日：24人→8月17日以降：3人に減少

③入院調整に要する時間：

8月1日～8月16日：最大2日→8月17日以降：約1時間に短縮

②陽性透析患者の受入体制の強化

第7波においてはBA.5の感染力の強さから医療機関でのスタッフの感染者・濃厚接触者も増加しており、その影響もあり、陽性となった透析患者が、かかりつけ医での外来による透析治療継続が困難となるケースが多くなっている。その際には保健所にて外来・搬送の調整を行っているが、調整が困難な状況になってきている。

また、透析対応可能な入院受入医療機関が少なく、入院調整にも時間を要している。

このような現状を早急に改善し、軽症患者については外来対応可能な医療機関で透析しながら自宅療養を可能とし、重症化患者については必要時に円滑な入院につなげることができるよう体制の強化を行うことを目的として、陽性透析患者受入支援金を臨時的に創設し、コロナ受入病院を個別に訪問し、改めて受け入れ依頼を行った。

・陽性透析患者受入支援金

①通院受け入れ支援金 12,000 円/日・人

②入院受け入れ支援金 12,000 円/日・人

※市内医療機関で受け入れた場合（患者の住所地を問わず）を対象

・実施期間：8月17日から10月16日の2か月間

・実績

	制度開始前		制度開始後
入院のみ	13 病院	➡	13 病院
通院	50 病院		56 病院

■陽性透析患者の実績

8月1日～8月31日の透析患者 118 人

①うち透析のかかりつけにて通院 90 人 入院 9 人

②うち①以外で保健所が調整した通院 6 人 入院 13 人

③入院・外来調整に要する時間：

8月1日～8月16日：最大2日→8月17日以降：1日以内に短縮

(3) 外来医療提供体制の確保（神戸市オンライン確認センター）

感染者急増により発熱外来、救急外来がひっ迫する状況の中、高齢者など重症化リスクのある方の受診を最優先とするために、8月4日より、保健所内に「神戸市オンライン確認センター」を新たに設置し、抗原定性検査キットを無料で配布し、陽性判定の方には保健所医師による確定診断をするとともに、薬局において薬の配布等を実施することで、医療機関の受診を控えていただく。

・対象者

神戸市在住の基礎疾患等がない6歳～59歳の方で、発熱等の新型コロナウイルス感染症を疑う症状のある方。（20歳代から開始し、順次拡大）

8月4日～	20歳代
8月10日～	30歳代・40歳代
8月12日～	50歳代
8月14日～	6歳～19歳

・抗原定性検査キットの申し込み数

期間	キット申し込み数	キット申し込み数のうち、陽性者数
8月4日～9月11日	48,646 人	11,946 人(8月10日～9月11日)

・神戸市オンライン確認センターでの確定診断割合

■お盆期間中:8月13日～16日:

市内陽性者数9,524人のうち、神戸市オンライン確認センターでの確定診断割合は:47.6%
(4,537件)

■8月10日～9月11日:

市内陽性者数79,694人のうち、神戸市オンライン確認センターでの確定診断割合は:24.4%
(19,473件)

・薬局での薬剤配布(無料分)

8月4日～8月23日 203件

(4) 重症化防止対策の強化

①要介護者等の検査体制・療養体制の強化

ア) 定期的検査・積極的検査

○定期的検査の対象の拡大

第7波の感染拡大を受けて、直接介護等に従事する職員への定期検査の対象について、入所施設・通所施設で直接介護に従事する職員への定期検査を実施してきたが、8月22日より高齢者等への接触が多い訪問系事業所を対象を拡大した。

○障害児・者施設での陽性患者発生の際の積極的検査

重症化リスクの高い高齢者、障害児・者施設において陽性患者が発生した場合に、疫学調査による濃厚接触者の有無にかかわらず、念のためにフロア全員に対し行う積極的検査を実施。

イ) 要介護者の入院受入体制等の強化

○高齢者施設等への医療提供体制の強化

・感染制御・業務支援チームの派遣

入所施設への派遣:119件(1月1日～8月31日)

・施設内での経口薬等による治療の早期実施

(実績)

高齢者施設(介護老人保健施設/特別養護老人ホーム)の嘱託医等の処方医療機関

登録:172か所のうち、170か所登録(8月31日時点)

・地域の医療機関との連携による往診体制の構築

・生活支援も含む訪問看護ステーションの確保

訪問看護ステーション契約数:34か所(8月31日時点)

・陽性患者宅へ訪問介護事業者がサービス提供できるよう、感染症研修内容を継続的に動画配信

・高齢者施設等への感染症予防対策の巡回訪問指導

○要介護者の入院受入体制等の強化

・要介護者の入院受入支援金(同時期に複数名受入1施設:最大300万円)

②重症化リスクの高い患者への重点化及び自宅療養者へのフォローアップの強化

重症化防止を図るため、重症化リスクの高い患者への対応に重点化するとともに、自宅療養者へのフォローアップ体制を強化している(9月5日～)。

ア) 医療機関の負担軽減を図るため、兵庫県の方針を踏まえ、低リスクの方に関する発生届の項目削減を行っている。

イ) 重症化リスクの高い患者については、従来通りの発生届の項目で届け出いただき、保健所から電話調査を行っている。(下記①～④の方)

ウ) 低リスクの方もこれまで通り安心して療養できるように、体調悪化があれば自宅療養フォローアップセンターへ連絡いただき、重症化防止のための対応を行っている。

(下記①～④以外の方)

また、自宅療養者に毎日入力フォームへ健康状態を入力してもらい、自宅療養フォローアップセンターの看護師が入力内容を確認することで、陽性者からの連絡がなくても保健センターから電話連絡を行い、健康観察を行っている。

エ) 9月5日より、自宅療養フォローアップセンターを24時間体制に強化し、いつでもご相談いただける体制をとっている。

オ) 自宅療養者に対する外来受入医療機関等を、下記の通り、確保している。

- ・ 外来受入医療機関数： 22 医療機関（8月31日時点）
- ・ 外来受入実績： 令和4年度 876 件（8月31日時点）
- ・ 往診、電話診療、オンライン診療の実施（24時間対応）

令和4年度実績（8月31日時点）：

往診:1,200 件 電話診療:295 件 オンライン診療:31 件

○発生届の項目削減となる方（低リスク者）

①～④以外の方

- ① 65 歳以上の方
- ② 入院を要する方
- ③ 重症化リスクがあり、コロナ治療薬の投与又は酸素投与が必要と医師が判断する方
- ④ 妊婦の方

※区保健センターからの電話調査対象

～9月4日	9月5日～
①65 歳以上の方 ②入院を要する方 ③重症化リスクのある方 （基礎疾患、肥満 等） ④妊婦の方 ⑤乳児	①65 歳以上の方 ②入院を要する方 ③重症化リスクがあり、かつ、 <u>コロナ治療薬の投与又は酸素投与が必要と医師が判断する方</u> ④妊婦の方

(参考) 発生届の削減項目

～9月4日 【60 項目】	9月5日～（低リスク者のみ） 【7 項目】
① 報告年月日	① 報告年月日
② 患者・疑似症患者等の診断した者の類型	② 患者・疑似症患者等の診断した者の類型
③ 陽性患者の氏名・ふりがな	③ 陽性患者の氏名（ふりがなでも可）
④ 性別	④ 性別

⑤ 生年月日	⑤ 生年月日
⑥ 当該所在地	⑥ 当該所在地（市区町まで）
⑦ 電話番号	⑦ 電話番号（当該者又は保護者電話番号のいずれかでも可）
⑧ 症状	
⑨ 診断日	
⑩ 発症日	
⑪ ワクチン歴	
⑫ 重症化リスク因子	
⑬ 重症度	
⑭ 入院の必要性の有無 等	

※9月26日より全国一律で発生届の全数届出を見直すことになっているが、低リスクの方もこれまで通り安心して療養できるように、体調悪化があれば24時間体制に強化した自宅療養フォローアップセンターでしっかりと支援していく。

3 変異株について

神戸市健康科学研究所では、5月16日以降、独自に感染力が強いと言われているBA.4系統及びBA.5系統の疑いを早期検知できる変異株PCR検査を実施し、ゲノムサーベイランス体制を確保している。市内では、6月16日にBA.5系統の1例目を確認し、現在は、BA.5系統へ置き換わっている。

○L452R変異株PCR検査の状況（令和4年9月7日時点）

発生届出日	変異株 PCR検査数	オミクロン株			
		BA.1/BA.2系統疑い		BA.4/BA.5系統疑い	
5/16-5/29	891	891	100%	0	0%
5/30-6/26	890	838	94.2%	52	5.8%
6/27-7/31	4,164	903	21.7%	3,261	78.3%
8/1-8/7	1,130	41	3.6%	1,089	96.4%
8/8-8/14	1,037	20	1.9%	1,017	98.1%
8/15-8/21	856	10	1.2%	846	98.8%
8/22-8/28	480	5	1.0%	475	99.0%
8/29-9/4	240	0	0%	240	100%
計	9,688	2,708	-	6,980	-

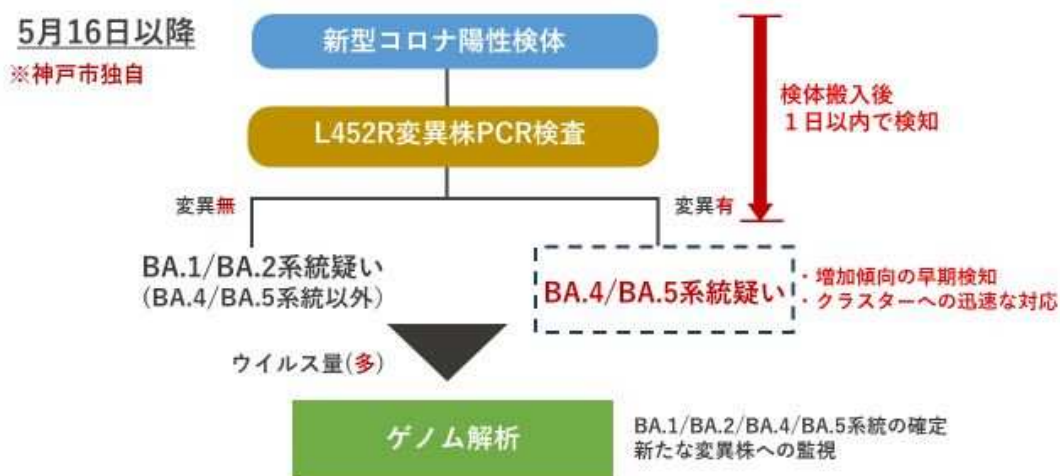
※届出日から陽性検体回収にタイムラグがあるため、発表後も数値が変更されることがある。特に、直近1週間の届出日分について、次回発表時に数値が変動する可能性がある。

○ゲノム解析の状況（令和4年9月7日時点）

発生届出日	ゲノム 確定件数	オミクロン株							
		BA.1系統		BA.2系統		BA.4系統		BA.5系統	
1/10-1/30	1,274	1,260	98.9%	2	0.2%	0	0%	0	0%
1/31-2/27	1,505	1,485	98.7%	17	1.1%	0	0%	0	0%
2/28-3/27	807	621	77.0%	186	23.0%	0	0%	0	0%
3/28-4/24	586	143	24.4%	443	75.6%	0	0%	0	0%
4/25-5/29	1,151	34	3.0%	1,117	96.6%	0	0%	0	0%
5/30-6/26	618	0	0%	574(7) [1]	92.9%	2	0.3%	42	6.8%
6/27-7/31	1,601	1	0.1%	454(32)	28.4%	30	1.9%	1,116	69.7%
8/1-8/7	376	0	0%	20(1)	5.3%	1	0.3%	355	94.4%
8/8-8/14	395	0	0%	13(1)	3.3%	3	0.8%	379	95.9%
8/15-8/21	326	0	0%	5	1.5%	5	1.5%	316	96.9%
8/22-8/28	31	0	0%	0	0%	0	0%	31	100%
	8,670	3,544	-	2,826(41) [1]	-	41	-	2,239	-

※届出日から陽性検体回収にタイムラグがあるため、発表後も数値が変更されることがある。特に、直近1週間の届出日分について、次回発表時に数値が変動する可能性がある。

※BA.2系統の()内の数字はBA.2.12.1系統の内数を、[]内の数字はBA.2.75系統の内数を表す。



4 後遺症対策

(1) 後遺症実態調査の概要とその結果

12月～1月に、第4波の感染者（主にアルファ株）のうち4,276人（回答者：1,621人）に対し、後遺症実態調査を実施し、回答者の約5割から「退院日または療養終了日以降も症状あり」との回答があった。

(2) 主な対策

①後遺症相談ダイヤルの設置

後遺症に関する悩みを抱えている方への相談窓口として開設。（令和3年11月1日～）

【相談実績】3,213件（令和3年11月1日～令和4年8月31日）

【医療機関】後遺症診察対応医療機関数：198 機関

②アフターコロナ健診（6月20日より受付開始）

コロナ罹患後患者が受診できる健康診査の受診機会を提供。

（身体計測、血圧測定、尿検査、血液検査、結核健診を実施。）

【実績】令和4年8月末現在：健診受診者：15人、予約者：34人

③後遺症リハビリ

・健康リスク改善事業（6月20日より受付開始）

健康ライフプラザで6か月間、計3回の体力測定のほか、週1回までの運動指導やスポーツジムエリアの利用

【実績】：15件（8月末時点）

・セルフリハビリプログラム（8月公表開始）

筋力低下対策動画を作成し、市ホームページ等で放映。

(3) 第2回後遺症実態調査について

オミクロン株特有の後遺症症状の有無や罹患後の困りごとについて、実態を把握し、対策を検討していく。前回の調査（主にアルファ株）とオミクロン株の比較を行うとともに、今回新たな調査項目として「ワクチンの接種回数」及び「仕事や学業などへの影響」の項目を追加し、影響の調査も行う。

・対象者：第6波（オミクロン株（BA.1・BA.2））の感染者のうち約5,000人

・令和4年9月～12月：調査実施 ※年内に調査結果（速報）を公表予定

※後遺症に対する理解を深めていただくことを目的とした広報啓発に取り組んでおり、リーフレットを作成し、7月より神戸市HPで掲載している。

身近な人も悩んでいるかもしれません。

知ってください。 コロナ後遺症のこと。

コロナウイルスに感染した方の約2人に1人が療養期間が終わった後も、さまざまな症状で悩んでいます。今なお、学業や仕事に集中しづらい人がいます。

療養後も症状	主な症例	半年以上つづく
約5割 ※10歳代～50歳代	記憶障害 集中力低下 抑うつなど	長期的な 症状
コロナの後遺症は若い世代にとっても他人事ではありません。	まわりに見えづらく理解されづらい症状に苦しんでいる方がいます。	半年以上、だるさや筋力低下の症状が改善しないケースもあります。

あなたの理解が、支援になる

KOBE

神戸市後遺症相談ダイヤル 078-322-6037
【相談可能日時：月～金、日 10時～17時】

神戸市で国のコロナ後遺症実態調査結果より【取材協力】：1,534名、実施期間：令和3年11月～令和4年1月

5 新型コロナワクチン接種

(1) 追加(4回目)接種の状況

令和4年6月1日から重症化予防を主な目的として、3回目のワクチン接種から5カ月が経過した「①60歳以上の方(努力義務あり)」及び「②18歳以上で基礎疾患を有する方、その他重症化リスクが高いと医師が認める方(努力義務なし)」に対して4回目の追加接種を開始し、7月22日からは「③医療従事者等及び高齢者施設等の従事者」にも対象を拡大した。

神戸市では、「①60歳以上の方」には手続き不要で順次接種券を発送するとともに、「②18歳以上で基礎疾患を有する方、その他重症化リスクが高いと医師が認める方」及び「③医療従事者等及び高齢者施設等の従事者」に対しては、接種券発行申請後すぐに使用できる「こうべE-mail接種券」を発行するなど、引き続き、接種を希望する市民が迅速に接種を受けられるよう接種体制を整えている。

(2) オミクロン株に対応した新型コロナワクチンの接種について

新型コロナウイルスのオミクロン株に対応したワクチン(以下「オミクロン株対応ワクチン」という。)を使用した追加接種について、国は自治体に対して、速やかかつ円滑に接種を開始するための準備を進めるよう通知している。

国は、その開始時期について、

- (ア) 9月半ば過ぎから前倒しで配送されるオミクロン株対応ワクチンについては、まずは、重症化リスクが高い等の理由で、現行の4回目接種の対象となっている者であって、当該接種を未実施であるものを対象に接種すること
- (イ) 4回目接種の一定の完了が見込まれた自治体においては、配送ワクチンの範囲内で、社会機能を維持するために必要な事業の従事者や年代別など、その他の初回接種が終了した者の接種へ移行すること
- (ウ) これら以外の初回接種を終了した全ての者へのオミクロン株対応ワクチンの接種については、引き続き、10月半ばを目途として準備を進めることとしており、神戸市としても、速やかに対応できるよう、準備をすすめたい。

(3) 小児の追加接種(3回目)について

9月6日から、小児(5歳以上11歳以下)への3回目の新型コロナワクチン接種が開始された。

神戸市では、9月7日から、初回接種後5カ月を経過した方に接種券を発送しており、接種券が届いた方から個別接種医療機関で3回目の接種を受けていただける。

(4) 接種実績

(令和4年9月12日時点)

		接種済み者数	神戸市人口比	接種対象人口比
2回目接種実績(5歳以上)		1,180,111	78%	81%
3回目接種実績(5歳以上)		902,571	60%	76%
4回目接種実績	(60歳以上)	285,522	20%	62%
	(18歳以上60歳未満)*	17,992		—

* 18歳以上60歳未満の4回目接種の対象は、基礎疾患を有する方等、医療従事者等に限る。

○小児接種

	接種済み者数	接種対象人口比
1回目接種実績	8,350人	9.7%
2回目接種実績	7,689人	8.9%
3回目接種実績	20人	0.3%

(5) 接種体制

①個別接種医療機関(市内766か所)

(令和4年9月13日時点)

区	医療機関数	区	医療機関数
東灘区	131	長田区	45
灘区	86	須磨区	67
中央区	121	垂水区	87
兵庫区	50	西区	90
北区	89	合計	766

②集団接種会場(16か所)

(令和4年9月13日時点)

区	会場名	ワクチン	備考
東灘区	東神戸センタービル WEST 棟 8階	モデルナ	
	神戸ファッションプラザ 9階	モデルナ	
灘区	灘区文化センター 5階	モデルナ	
中央区	センタープラザ 9階	モデルナ	
	市役所 1号館 24階 (夜間接種会場(平日 18:00~21:00))	ファイザー	
	アリストンホテル神戸 2階	モデルナ	
兵庫区	兵庫区役所 2階(みなとがわホール)	モデルナ	
北区	鈴蘭台プラザ	モデルナ	
	エコール・リラショッピングセンター本館 5階	モデルナ	
長田区	長田区文化センター 3階	モデルナ	
須磨区	須磨区役所 4階	モデルナ	
	須磨パティオ健康館 2階	モデルナ	
垂水区	垂水年金会館 4階	モデルナ	
西区	西神中央駅ビル 2階北側	モデルナ	
	JA兵庫六甲西神文化センター 4階	モデルナ	
	キャンパススクエア本館 2階	モデルナ	

③小児の個別接種（市内 123 か所）

（令和 4 年 9 月 13 日時点）

区	医療機関数	区	医療機関数
東灘区	22	長田区	6
灘 区	14	須磨区	10
中央区	15	垂水区	16
兵庫区	9	西 区	15
北 区	16	合 計	123

（6）接種促進の取り組み

①施設接種の促進

市内の高齢者施設・障害者施設等での接種について、迅速に完了できるよう支援する。

- ・ 接種実施にかかるマニュアルの提供
- ・ 利用者等の接種券の確保支援
- ・ 施設等からの個別相談対応
- ・ 神戸市医師会と連携した接種医のあっせん（接種医を確保できない場合）

②訪問接種

寝たきり状態などにあり移動が難しい方など、医療機関や集団接種会場で接種を受けることが難しい方のご自宅に、医師や看護師などで構成された巡回接種チームを派遣。

○対象者

高齢者等で医療機関や大規模・集団接種会場に行くことができず、往診での接種もできない方とその介護者・同居者等

○申し込み方法

ケアマネージャー・障害者相談支援センターを通じて申し込みを受け付け

③配慮が必要な方のための接種会場

知的障害者（療育手帳所持者）、精神障害者（精神障害者保健福祉手帳 1 級所持者）の方等で、集団接種会場等で新型コロナワクチンを接種することが難しい方やその介助者のための接種会場を設置。

○対象者

「療育手帳」または「精神障害者保健福祉手帳 1 級」を持っている方等で、かかりつけ医や集団接種会場での接種が困難な方

○申し込み方法

専用予約電話（078-277-3327）で予約を受け付け

○開設場所・日時

神戸市役所 1 号館 24 階（中央区加納町 6 丁目 5-1）

日程：毎週木曜日（13：30～16：30）

④主として若年層（12歳から39歳）を対象とした接種促進策

- まちなか接種ステーション（「予約なし」「接種券なし」接種）の設置
（7/30 から 8/28 の間の金土日祝）
受付件数：986 件
- 「予約なし」「接種券なし」の夜間接種（センタープラザ9階会場）の実施
（8/17 から 8/31 の間の水木）
受付件数：85 件（この他、事前予約枠 97 名を接種）
- 若年層専用予約枠（市役所 24 階会場）の設定（4/9 ～ ）
受付件数 4,709 件（8/31 までの実績）

※（参考）これまでの取り組み

- 企業、各種団体及び大学等教育施設向け団体接種の実施（3/28 ～ 6/19）
4 団体（105 名）
- 大学等へのキャンパス訪問型団体接種の実施（5/16 ～ 6/30）
4 大学・1 専門学校（331 名接種） うち初回接種 34 名、留学生 121 名

6 療養期間等の見直し

9月7日より、With コロナの新たな段階への移行を据え、療養期間等が見直しされており、関係機関等に周知を図った。

(1) 有症状者の療養期間について

①発症から6日目までに症状が軽快した方※1

発症日から7日間経過し、かつ、症状軽快後24時間経過した場合には8日目から解除
（従来は11日目に解除）

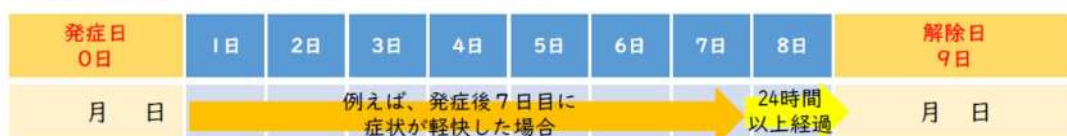
(※1) 発症6日目までに症状が軽快した場合



②発症から7日目以降に症状が軽快した方※2

症状軽快後24時間経過した翌日から解除

(※2) 発症6日を越えて症状が続く場合



※現に入院中の方及び高齢者施設に入所中の方

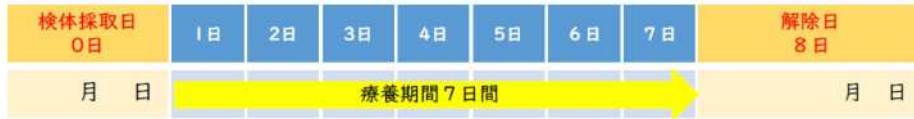
発症日から10日間経過し、かつ症状軽快後72時間経過した場合には11日目から解除

(2) 無症状者の療養期間について

① 検体採取日から7日間が経過した方※3

検体採取日から7日間を経過した場合には8日目に療養解除（従来から変更なし）

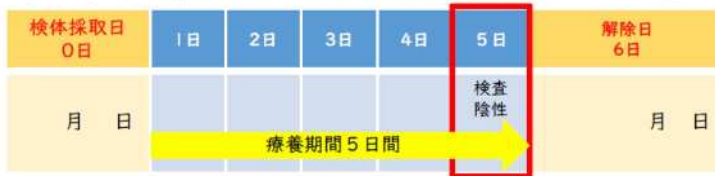
(※3) 検体採取日から7日間が経過した場合



② 療養期間中に抗原定性検査キットで陰性を確認した方※4

検体採取日5日目に検査キットによる検査で陰性を確認した場合には、6日目に解除（検査キットはご自身で用意した物）（従来は8日目に解除）

(※4) 検体採取日から5日目に抗原定性検査キットで陰性が確認された場合



(3) 療養期間中の外出について

感染予防行動を徹底することにより、食料品等の買い出しなど必要最小限の外出を行うことができるようになった。

■対象者

- ・ 症状軽快から24時間経過した方
- ・ 当初から無症状の方

■外出時等の感染予防行動

- ・ 外出時や人と接する際は短時間
- ・ 移動時は公共交通機関を使わない
- ・ 外出時や人と接する際に必ずマスクを着用